

お花見しながら仲良く交流

3月29日、高尾町公園で、中央子育て支援センターのふれあいぼっけクラブとインターナショナルクラブの交流会が行われました。

桜が咲くこの季節に、外国出身の保

護者を含む親子に、お花見をしながら、仲間づくりをしてもらおうと企画。きれいに咲いた桜の下で、絵本を読んだり、ゲームをしたりして、楽しみながら交流を深めました。



達人から学ぶ正しいフォーム

3月22日、袋井南中学校ソフトテニス部員約30人が世界選手権で優勝経験のある金環子^{キンケンジ}さんや村上泰夫さんからソフトテニスの指導を受けました。

生徒たちは、達人からラケットの持ち方やフォーム、足の動きなどを手取

り足取り教えてもらおうと、早速実践。技術面のほかにも、声を出すとリズムがとりやすくなることや緊張感を持つて練習することの大切さなども教えてもらい、達人の技術を吸収していました。



新しいごみ処理施設オープン

3月23日、袋井市森町広域行政組合が運営するごみ処理施設「中遠クリーンセンター」の竣工式が行われました。

新しい施設では、高温でごみを灰まで溶かすほか、排ガスや飛灰対策など環境への配慮も万全。ほかにも、ごみの焼却熱で発電を行い、施設内の電力として有効利用するなど様々な工夫がされています。

中遠クリーンセンターは、3月24日から稼働しており、施設の内部やごみ処理工程などは、自由に見学できます。

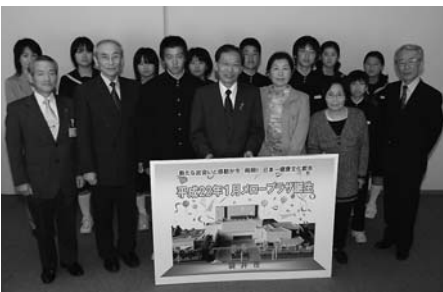
詳しくは、中遠クリーンセンターへお問い合わせください。
☎30-0530



メロープラザに決定

3月24日、南部地域の拠点施設として整備を進めている(仮称)地域交流プラザの施設名称発表式が行われました。

昨年、名称を募集し、応募のあった563作品のうち、選定委員会で「あさば野学遊館」「メロープラザ」「夢工房あさば」の3作品を選定。市民投票の結果、「メロープラザ」に決定しました。名称募集に協力いただいた浅羽中学校生徒会や3作品の応募者に賞状が贈呈されました。メロープラザは、平成22年1月に完成予定です。

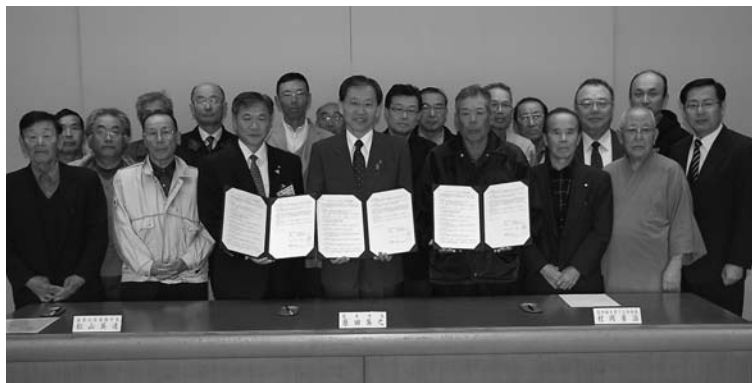


道も桜もきれいに管理

3月24日、袋井土木事務所と袋井市、袋井桜を育てる会の3者がアダプトロードプログラムの同意書調印式を行いました。

この制度は、道路管理者、市、地域の美化団体が協働して、道路の清掃や美化活動に取り組むもので、いわば道路の里親制度です。

袋井桜を育てる会では、地域の美しい環境づくりを目指し、県道磐田掛川線(袋井小笠線交差点からエコパ入り口交差点までの1.5km)の歩道に植栽された桜の保護や歩道の清掃活動などを行っています。



●施設名称の市民投票結果

メロープラザ	1,011票
あさば野学遊館	744票
夢工房あさば	518票

●名称の意味

「メロー」とは、みんなが明るく朗らかで、気軽に声を掛け合うことができる豊かなまちを意味しています。旧浅羽町では、「メローなまちあさば」をスローガンに、子どもから大人まで、みんなでまちづくりに取り組んできた歴史があります。

未来に向かって伸びゆく、健康で明るい南部地域となるように名付けられました。